

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	5 日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	戒場神社のホオノキの巨樹				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1978年(昭和53)3月28日				
所在地	宇陀市榛原戒場388番地				
所有者 管理者	戒場神社				
員数	1株				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) ホウノキ			(樹齢) 300年以上(説明板)	
案内板の状況	あり				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	特にない。 ホオノキは目通り6.2m高さ約15m、樹齢300年以上の巨樹で拝殿右手にあり、根元部分には大きな空洞も見られるが、調査時も大きな葉がひらひら次々と落ちてきた。説明板によると、葉は約35cmx23cmと大きく芳香があるとのこと。				
今後の課題	ホウノキの根元や主幹部分は傷み、空洞化が進んでいる。樹勢の衰えを防ぐために将来的には専門家も交えた対策なども必要。				
その他 (由緒など)	戒長寺の本堂右側に戒場神社本殿と拝所、社務所があり、大イチョウ横に鳥居がある。参道、境内も共有し、神仏習合の様子が伺える。そのように、もともとは、戒長寺の鎮守社で、薬師如来の眷属の十二神将が祀られていたが、神仏分離令により、戒場山で里人が孤狼に襲われたのを助けたと伝わる大山祇命を戒場区の氏神とした。(Wikipediaなど)				
コメント	ホウノキはモクレン科の日本特産の落葉植物で、大きな葉には殺菌効果や芳香があり、食用にも利用されている。樹皮は漢方薬にも用いられ、材は均一で加工しやすいため、建具や下駄の歯、彫刻など、多くの用途があり、老木は少ない。(説明板やWikipediaなど) 戒場神社のホウノキは日本一のホウノキとも言われている。樹の老化は見られるが、樹勢を保っていけるように努めてもらいたい。また、小さな境内の東西にお寺と神社の巨樹が立つ環境も維持できるように願う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	11月	5日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	戒場神社のホオノキの巨樹
------	--------------

拝殿の背後のホウノキ	説明板
------------	-----



本殿、玉垣前から根元部分

主幹部分



根元部分

鳥居と戒長寺のお葉つきイチヨウ

